

医療安全管理委員会及び医療安全推進担当者会活動報告

2019 年度

【活動計画（具体的取り組み）】

日時（実施日）	内容	総評価・考察
毎月 (第3木曜日)	医療安全管理委員会； 各部門の問題を抽出及び院内全体の医療安全に関する組織的な取り組み 医療安全推進担当者会；医療安全管理委員会の下部組織、事例を用いた分析及び各部署での実践	インシデント・アクシデント報告件数：1672件/年(病院：1115件・老健：551件・訪問看護ステーション：3件)うち3b以上報告33件(病院)2件(老健)転倒・転落による骨折7件 医師報告：16件 患者誤認に関する報告：79件 昨年度と比較し、総報告件数は若干減った。しかし、病床数の目標4倍は到達できた。医師の報告件数も横ばいである。転倒・転落によるアクシデントは環境を見直す等基本に戻ったが、増加した。超高齢化社会ではあるが、早期の離床や、日常生活の中でのADL拡大や、認知症患者への対応等も今後の課題である。
毎月	院内ラウンド 2回/月、第2・4木曜日、経過報告	予定表通り実施。今年度追加した電気コンセント類に関するチェック項目に重点を置き実施
随時	マニュアルの改訂、追加、医療安全情報配信	DVT/PTE 予防・院内急変時対応マニュアル改訂等を行った。医療安全情報の発信も行い、事例にある当院の既存マニュアル等の確認・修正をした。
1回/年：各病院訪問	地域連携病院との相互監査ラウンド：加算I病院 地域連携病院へ監査ラウンド：加算II病院	相互チェックシートの追加(感染に関する項目)と厚生省より発行の連携シートを活用し、評価した。 加算I病院：関門医療センター(1/14) 当院への訪問(11/29) 加算II病院：岡病院(11/26) 自部署の改善点及びできているところなど客観視できた。

【主な研修】

開催月	テーマ	対象者	評価
6月	みんなで医療安全を考えよう～造影検査について～ ～患者誤認～	全員	<u>参加者：434名（出席率91%）</u> 今年度スローガンのルールを守る基本となることの意義を伝えた。
7月2日	深部静脈血栓症及び肺塞栓症	全員	<u>参加者：111名</u> 講師：循環器医師 疾患・予防・治療について、知識・意識を高めることができた。
8月9日	小児から高齢者まで役立つ急変対応	全員	<u>参加者：70名</u> 講師：麻酔科医師 第一印象の評価の仕方や、一次評価（ABC）での重症度判定、二次評価（SAMPLE）の仕方など具体的に理解できた。
10月	みんなで取り組もう医療安全 ～医療安全の基本～ ～医薬品安全使用のために～	全員	<u>参加者：437名（出席率92%）</u> 医療安全・医薬品に関する基本を再確認し個々の医療安全に関する知識・意識の向上に努めた。
6～3月	BLS・ICLS研修	全職種	予定どおり実施 <u>BLS参加者：269名(実技:179名、座学：90名)</u> <u>ICLS参加者：36名</u> 今年度のBLSは実技と座学を実施し、看護師は実技を必須項目とした。今後1回/年の全員実技を実施するために、まず指導者の育成や、実施方法等検討が必要である。院内のみ通用するBLSインストラクター認定や、ICLSインストラクター認定資格所得者の活用等、今後双方で協力体制を整えていく必要がある。研修に必要な機器に関しては整った。
2月	急変シミュレーション研修 (ハリーコール演習)	全職種	<u>参加者：68名</u> 研修効果を高めるために、設定場面、リーダー育成等更なる検討が必要。